

**第16回：栗本 薫 さん（株式会社 のぎす 代表取締役）****どんな会社ですか？**

小さい子どもや高齢者もボウリングを楽しめるように、投球補助台「ころりんスライダー」を開発し、製造販売しています。

「あなたのニーズに寄り添いたい」が企業理念です。

「のぎす」は物の大きさを測る精密な測定器具の名前です。物を挟んでいく様子が、片方がもう片方に寄り添っていくように見えることから、社名にしました。

**起業してみてどうでしたか？**

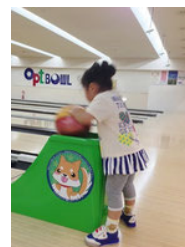
重度の障がいを持つ子どもの親として、子どもの将来の仕事を創ってあげたいと思ったことが起業のきっかけの一つです。

製造業なら、障がいを持つ人の多様な特性に合った細かい仕事がたくさんあります。

障がい者の方が「自分達で使うものを自分達で作れる」ようにしたいと思って頑張っています。

**起業時、重要だった課題は？**

資金調達、起業に伴う各種手続き、販売先の確保、仕入先の確保、起業家自身の知識・情報収集です。

**課題はその後、どうになりましたか？**

資金調達は、日本政策金融公庫の融資や国の創業補助金を受けることができました。手元資金は預貯金を充当しました。

起業に伴う各種手続きは、実家の仕事で出会った司法書士の方をお願いして解決しました。いろいろと力になってくださいました。

販売先の確保については、地元の信用金庫からミラサポ（未来の企業★応援サイト）を通じて無料で相談できるコピーライターを紹介して下さり、そのコピーライターの方から広告や販売についてのアドバイスを受けることができ、解決しました。

仕入れ先の確保は、ご縁があって大阪にあるウレタンメーカー様をお願いしました。

知識・情報については、素材のことも経営のことも何も知識がなかったので、他社の経営者の方々に聞いて教えてもらいました。皆さんに協力していただいて無事に起業することができました。本当に人に恵まれています。とても感謝しています。

## 起業時、役に立った相談・支援機関は？

地元の信用金庫です。  
公庫融資の書類を見てもらったり、創業補助金のことを教えてもらったりしました。特許などの知的財産権取得や広告宣伝の仕方について無料で相談できる方法も教えてくださいました。

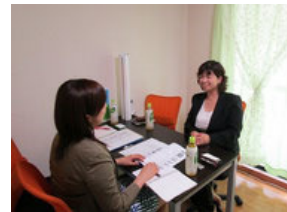
## 起業前の経験は活かしていますか？

大学を卒業して大学専攻科を修了後、金融機関のコールセンター等で仕事をし、結婚退職して育児に専念しました。

その後、家業のボウリング場で仕事をする中で、投球補助台の導入を図り、好評を得ました。もっと丈夫で子供たちが使いやすい製品がほしいと思ったことが、開発及び起業のきっかけとなりました。

## 今後の抱負は？

いつかは障がい者の方を雇用できるようになりたいと思います。  
そのためにも、一生懸命販売して資金を作り、商品開発をして、事業を続けていきたいと思っています。



## 企業情報

商号 株式会社 のぎす  
業種 製造業  
起業年 2013年  
企業HP <http://nogisu.co.jp/index.html>  
所在地 〒635-0081 奈良県大和高田市高砂町 2-1 サンライズビル 1F  
※2015年1月9日より移転  
連絡先 0745-23-7337